

知ろう！荒川の防災情報

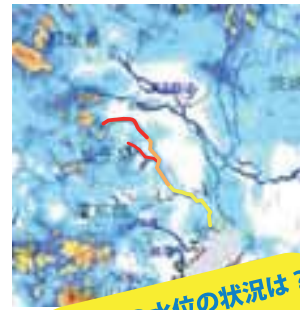
気象情報



台風はどこに？

台風情報 検索

川の防災情報（雨・水位・ライブ映像）



雨や川の水位の状況は？

川の防災情報 検索



川の様子は？

パソコンから <http://www.river.go.jp/>
スマートフォンから <http://www.river.go.jp/s/>



いまの水位は？



荒川下流河川事務所

ホームページや公式ツイッターで情報配信しています。

荒川下流河川事務所 HP



<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>



公式ツイッター

https://twitter.com/mlit_arakawa_ka

荒川をもっと知りたい方は…

荒川知水資料館 amoa

JR線「赤羽駅」から徒歩 20 分
南北線「赤羽岩淵駅」「志茂駅」から徒歩 15 分

いつでも見られるように、
事前に登録しておこう！
詳しくは検索してね！

まずは、ハザードマップの確認を！

国土交通省の

ハザードマップポータルサイト

国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」から、広い地域の情報が入手できます。



自治体の

洪水ハザードマップ

みなさんのまちでは、浸水予測や避難場所などの情報を載せた「洪水ハザードマップ」が作成・公表されています。

私の家は浸水するの？

どこへ逃げる？



昭和 22 年 9 月、カスリーン台風が襲う！！



首都圏にもあったんです大水害。

平成 27 年 9 月、茨城県常総市で鬼怒川が決壊し、大規模浸水が発生！！



浸水の深さは最大で 5m 以上！

これが決壊の結果なの？

荒川が決壊したら、首都圏はどうなる？

こんなに水びたしなの！たいへん！！



荒川洪水浸水想定区域図（平成 28 年 5 月）

想定される最大規模の大雨による浸水の予測なんですって。私の家を探してみよう！



2 週間以上水が引かない所もあって、しばらくもとの生活に戻れないそうよ。



そんな時、荒川下流域では、

先手先手の防災行動 タイムライン (拡大試行版)

により大規模水害に立ち向かいます

みんなでタイムライン。あなたもタイムライン。

タイムラインってやつですね。



タイムラインとは？



タイムラインとは、災害が発生することを前提として、関係機関がリスクを評価し、共有した上で、そのリスクに対して、先手を打って各機関が行うべき防災行動を、「いつ」、「誰が」、「何を」を明確化して、時間軸に沿って整理したものです。

タイムラインで被害軽減に成功！

平成24年に米国を襲ったハリケーン・サンディでは、ニュージャージー州に最大風速36m/sの勢力で上陸し、近接するニューヨーク市とともに大規模な高潮氾濫が発生した。ニュージャージー州ではタイムラインによる早めの対応により死者ゼロを実現し、ニューヨーク市では、タイムラインに沿って、事前に地下鉄車両の退避や浸水防止対策を行い、被害を最小限に留めた。

【写真】ニューヨーク市の地下鉄の浸水防止対策の状況（出典：米国ハリケーン・サンディに関する現地調査報告書第二版(H25、国土交通省・防災関連学会合同調査団)より）



荒川下流タイムライン（拡大試行版）とは？



荒川本川の破堤を一つのシナリオとして、各機関が定めている防災行動を時系列的に取りまとめたものです。

標準的な防災行動を取りまとめたものであり、時間的制約等が厳しい災害時において、チェックリストとして有効であるとともに、各機関の判断のサポートツールとしても有効なものです。



一方で、水災害は状況に応じて変化することから、各機関は、台風、降雨、河川の状況等によって時間軸や災害外力が異なるという認識の下で対応する必要があります。

東京管区気象台と荒川下流河川事務所は、現実の台風や河川の状況が荒川下流 TL のどのレベル・目安の時刻にあたるかという情報を各機関に伝達します。



各機関は、この情報を踏まえ、その都度、台風、降雨、河川の状況等を考慮し、各防災行動の実施について責任を持って判断します。



現時点までの検討結果をとりまとめたものであり、タイムラインはこれで完成というのではなく、今後とも台風時の運用結果等を踏まえ、ふり返り・見直しを行い、拡大・深化を図ります。

レベル・目安の時刻設定	気象情報等	荒川下流河川事務所	市区 (千代田区・中央区・港区・文京区・台東区・墨田区・江東区・北区・荒川区・板橋区・足立区・葛飾区・江戸川区・川口市・蕨市・戸田市)	東京都・埼玉県・警視庁・埼玉県警・東京消防庁	交通事業者 ライフライン 事業者
台風発生 レベル1-1 (5日前)	○台風・気象情報の発表	○TL運用体制の構築 ○外部への広報 (HP等) ○河川管理施設の点検 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築	○TL運用体制の構築 ○資機材の確認	○TL運用体制の構築
(3日前)	○台風・気象情報の発表	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○資機材の準備 ○河川区域内の状況確認	○資機材の確認・準備 ○広域避難の検討、自主広域避難の呼掛け(江東5区) ○福祉施設等の避難支援関係者との調整(板橋区)	○資機材の準備	○資機材の確認・準備
(2日前)	○大雨・洪水注意報(埼玉、東京) ○強風注意報(埼玉) ○強風・波浪注意報(東京)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供	○広域避難先の調整(江東5区、台東区・荒川区) ○休校・休園の検討 ○福祉施設等の避難支援の準備(板橋区)	○交通関連情報の収集・確認	○公共交通機関の運転規制(風速が規定値を超えた場合)
レベル1-2 (30時間前)	○水防団待機水位(岩淵水門(上)) ○大雨・洪水警報(埼玉、東京) ○暴風警報(埼玉) ○暴風・波浪警報(東京) ○記録的短時間大雨情報(埼玉)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○水文観測所情報の提供 ○今後の人員の再確認 ○岩淵水門閉鎖操作に係る行動	○広域避難勧告(江東5区) ○区外含む高台へ自主避難を呼掛け(荒川区) ○休校・休園の決定・伝達 ○公共交通機関の運行状況等の確認・周知 ○地下街等への情報提供 ○家屋倒壊危険ゾーンへの注意喚起 ○福祉施設の避難支援の実施(板橋区)	○今後の人員の再確認	○今後の人員の再確認 ○運行状況の共有
レベル2 (11時間前)	○はん濫注意情報(岩淵水門(上)) ○大雨特別警報(埼玉、東京) ○記録的短時間大雨情報(東京)	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○交通規制情報の収集 ○洪水予報の伝達	○交通規制情報の収集	○避難状況の把握 ○交通規制情報の収集	○駅構内の商業施設管理者へ情報提供 ○鉄道の運行継続及び停止に関する連携 ○交通規制情報の収集
レベル3 (3時間前)	○はん濫警戒情報(岩淵水門(上))	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○地下施設利用者の避難の確認	○状況に応じた交通規制の実施	○地下施設へ避難情報の伝達
レベル4 (0時間前)	○はん濫危険情報(岩淵水門(上))	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン	○浸水想定区域内住民等への垂直避難の呼掛け ○職員の安全確保、避難	○排水機場の運転停止 ○危険箇所からの退避	○危険箇所からの退避
レベル5 氾濫発生	○はん濫発生情報	○TL上のレベル設定 ○外部への広報 (HP等) ○洪水予報の伝達 ○自治体にホットライン ○応急・復旧対策の検討・実施	○はん濫情報提供 ○広域支援・連携の要請 ○応急対策 ○長期避難者支援対策	○応急対策	○応急対策

荒川下流域でのタイムライン検討経緯



荒川下流域では、東京都北区・板橋区・足立区を対象に、平成26年から全国に先駆けて検討を行い、平成27年5月に全国初の本格的なタイムライン(試行案)をとりまとめ、運用を開始しました。

その後も運用や訓練を行いながら検討を継続し、平成28年に「荒川下流タイムライン(試行版)」、平成29年に対象エリアを荒川下流部の洪水浸水想定区域にある16市区全てに拡大をした「荒川下流タイムライン(拡大試行版)」をとりまとめ、運用を開始しています。



国土交通大臣に策定報告及び意見交換(平成27年6月)



タイムラインの運用: 荒川下流河川事務所における対応

タイムラインの運用: 岩淵水門の点検

タイムラインを検討している関係機関

東京都(総務局・建設局・交通局)、埼玉県(県土整備部)、千代田区、中央区、港区、文京区、台東区、墨田区、江東区、北区、荒川区、板橋区、足立区、葛飾区、江戸川区、川口市、蕨市、戸田市、東京地下鉄株式会社、東日本旅客鉄道株式会社(東京支社・大宮支社・千葉支社)、東武鉄道株式会社、京成電鉄株式会社、首都圏新都市鉄道株式会社、埼玉高速鉄道株式会社、東京電力パワーグリッド株式会社、東日本電信電話株式会社、東京都立高島特別支援学校、東京都立板橋特別支援学校、板橋区立高島平福祉園、板橋区立特別養護老人ホームいずみの苑、内閣府(防災担当)、気象庁(東京管区気象台・熊谷地方気象台)、国土交通省東京国道事務所、国土交通省荒川下流河川事務所、【オブザーバー】警視庁、埼玉県警察本部、東京消防庁、関東運輸局

荒川下流タイムライン(拡大試行版)概要版[平成29年5月]

※ここに記載しているタイムラインは概要版であり、主な防災行動を記載したものです。詳細についてはこちらをご覧ください。 <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00385.html>



地域みなさんも、先手防災というタイムラインの考えを活用し、早めの身の安全の確保や早めの避難を心がけ、大規模水害に立ち向かしましょう。